

行事報告

**Globalization in Joining Technology and Materials Science
-Enhancing Collaboration Network in Greater Asia Region-**

勝又 美穂子

広域アジアものづくり技術・人材高度化拠点形成事業 極限環境対応グローバル接合部門 特任准教授

2015年10月13日と14日の2日間にわたり、広域アジア地域9カ国から合計11名の講演者を招待し、国際シンポジウムを開催しました。当日は企業、大学関係者を含む100名を越える参加者がありました。

韓国(KAIST)、中国(清華大学)、香港(香港城址大学)、台湾(国立台湾大学)、シンガポール(南洋理工大学)、トルコ(イスタンブール工科大学)、インド(インド工科大学ハイデラバード校)、タイ(チュラロンコン大学、モンクット王トンプリ工科大学、国立金属材料技術研究センター)、マレーシア(マラヤ大学)から来訪した講演者は、セミナー第一日目の13日に当研究所の片山研究室、藤井研究室、堤研究室、塚本研究室の4研究室より研究活動について紹介を受け、その後、実験施設見学に参加しました。施設見学では担当教員や学生からの説明を受け、熱心な質疑応答が繰り返されました。第二日目の14日にはシンポジウムが開催され、KAIST(韓国科学技術院)のProf. Na Suck-Jooの基調講演に続き、当研究所村川教授の講演を含む11の講演が行われました。広域アジア地域における同分野トップレベル機関がこのような形で一堂に会する機会は昨年11月にバンコ

クで開催された同シンポジウム以来、二度目であり、各大学間および研究者間での交流・連携強化に向けた有意義な機会となりました。また、シンポジウム会場外には9社の出展ブースが設置され、製品実物やビデオの紹介を受けた上で熱心に製品について質問する講演者や参加者の姿が見られました。今後も新たなメンバーを加えながらこうした機会を増やすことにより、同分野での広域アジア地域における研究連携の加速が益々期待されます。

